

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 28 年 5 月 13 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470104849		
法人名	株式会社 ニックス		
事業所名	グループホーム かぐや姫		
所在地	広島市東区尾長東二丁目6番6号 (電話) 082-209-1158		
自己評価作成日	5月13日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2015_022_kani=true&JigyosyoCd=3470104849-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成28年6月13日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

外食、外出行事、又近隣の散歩を日常的に行う事でご利用者様と地域社会の繋がりを大切にしています。 ユニットをそれぞれ一つの家族と考え、支え合い生活を共にしている事を意識しながら、かかわりを持つ様になっています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

平成16年開設のグループホームである。事業所は大型ショッピングセンターやターミナル駅が近隣にあるところに立地し、非常に便利な環境であるにもかかわらず、事業所の周囲は閑静な住宅地であり、散歩時の近隣住民とのあいさつ、事業所として加入している町内会の行事への参加など、日常的な交流や地域社会との繋がりがあがる。 また、日々の外出や買い物、近隣事業所との共同による行事の開催など、利用者や家族、地域住民が喜んでもらえるような企画を実施しているほか、管理者のリーダーシップのもと、利用者がわが家にいるのと同じ感覚で過ごしてほしい、「ここに来てよかった」と思ってもらえるような事業所にしたいという思いで、利用者が自分のペースで生活できるよう、その思いや意向をくみ取り、こころ配りを重ねている事業所である。
--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	事業所の理念【相手本位の心】、グループホームかぐや姫の理念【ゆったりとした家族的な雰囲気の中でその人らしい暮らしづくりをお手伝いします】に基づき常に受容し否定する事なく、利用者様に対して尊厳を持って従事している。	法人全体の理念である「相手本位の心」、そして事業所の理念である「ゆったりとした家族的な雰囲気の中でその人らしい暮らしづくりをお手伝いします」に基づき、職員が地域とのふれあいも含めた利用者への対応方法を実践し、新人職員にも理解をしてもらう取り組みがなされている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	毎年の夏祭り、年に数回ある行事等の時は事前に町内会の集まりの際報告し、又、運営推進会議への参加も声かけをしている。又、回覧板を持って行く際、グループホームの近況報告をしている。	日常的な散歩での近隣住民との挨拶のほか、職員も出勤途中での住民との挨拶を欠かさないようにしている。また、町内会にも加入し、回覧板が回ってきているほか、事業所のイベント時にはボランティアの協力や町内会長の参加もあり、事業所は地域の一員として日常的に交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	夏祭りなどで、法人による相談の窓口を設けている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	民生委員、婦人会長、家族様、地域包括支援センター等に連絡し、運営推進会議への参加の声かけをしている。ヒヤリハットがあればその都度報告し、原因と対策について説明している。	運営推進会議には、民生委員、婦人会長、家族、地域包括支援センター等の参加があり、家族が参加しやすいよう、日曜日に開催している。その結果、事業所運営に関する活発な意見交換がなされており、事業所におけるヒヤリハットやサービス向上のための取り組みについて、参加者から理解を得られている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	町内会に参加し、事業所の現在の取り組みなどを説明させていただいている。	地域包括支援センターを通じて認知症ケア研修への参加、空き状況の照会に応じているほか、事業所の運営に対し理解と協力を得られるなど、日頃から連絡を密に取り合うことで、協力関係を築くように取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>職員が出入りするドアは、防犯上の理由からも電子ロックを使用している。GH①GH②の中扉は、常に解放し行き来している。但し、前屈姿勢の利用者がおられる為、ご家族同意の下、移動時はベルトを使用している。</p>	<p>身体拘束をしないケアの実践のため、日頃から職員研修などの場を通じて管理者から指導している。転落防止のために、やむを得ず拘束を行う場合は、家族からの理解と協力を得、同意書を記入してもらうなどの対応がなされている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>月に一度、職員間のミーティングで、何が虐待でどこまでの対処を虐待というか等の話し合いは常に行っている。関連の研修に参加し、職員で共有している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>現在、当グループホームにて3名の成年後見制度を用いています。その都度、知識が得られる様勉強し、職員間で知識を共有している。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>			
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ご利用者様、ご家族様からのご意見やご要望は、職員間で共有している。</p>	<p>運営推進会議のほか、家族訪問時に管理者や職員が面談することで、本人や家族の意向を聞くようにしている。その結果、猫が好きな利用者の情報を聞き出し、「ねこカフェ」へ利用者に行ってもらい、喜んでもらえるなど、実際の運営に反映がなされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	月に一度のミーティングで出た意見や提案は、再度話し合い実践する事柄は議事録に書き止め、職員間で共有している。	月に1回、事業所ミーティングを行っており、職員から活発な意見や提案がなされ、管理者が取りまとめ代表者に伝える仕組みがある。議事録も作成され、会議に参加できなかった職員も確認することができる。その結果、利用者への接し方や介護技術の向上のための、具体的提案の内容について実践されている。	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	定期的に、職場環境や条件についての希望を聞く場を設けている。		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	法人内外の研修が月1回以上開催されており、率先して参加している職員もいるが、まだ全体に及んでいない。		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	隣接するグループホームとの会議を、週1回行っている。(毎週金曜日) その場で意見交換、情報交換をおこなっている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	ご本人様、ご家族様に雰囲気を見て感じてもらいながら、担当ケアマネージャーよりの情報をしっかり把握して、良い関係作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	御家族様との面談時に、ご要望・質問・不安な事等があった際は納得いく迄説明し、御家族様、施設間の信頼関係に努めている。		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	集めた情報を基に、御家族・ケアマネジャー・職員と共に、ご本人様にとって必要な支援を考えている。		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	自立支援を念頭に置き、職員、ご利用者様の垣根を出来るだけ作らず、一緒に行動して一緒に笑いあえる関係を築いている。		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	御家族様にも積極的に関わりを持って頂ける様に、行事やイベントがある時は事前に連絡している。又、ご来訪時には近況報告をしている。		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	ご本人様が馴染みにされている美容院へご家族と出かけたり、又ご友人が来られた際にはお茶・コーヒーをお出しし、昔話をされたりしている。	馴染みの美容院の利用や、友人の訪問などがあるほか、家族による墓参りの際には、同行できるように準備や外出前介助などの支援を行っている。また、年賀状や手紙を書くのを手伝うなど、本人がそれまで大切にしてきた関係が途切れないような支援がなされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	<p>日中はできるだけディルームで過してもらい、時には職員を交えて、孤立しない様な支援に努めている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	<p>他施設に行かれたご利用者様に面会に行ったり、ご家族様の相談事には、退所後も出来る限り応えている。</p>		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>ご本人様の思いや希望の訴えがある時は職員全体で共有し、出来る限り意向に沿う様努めている。</p>	<p>手洗いにこだわりがある利用者には、手拭きタオルに紐を取り付け、肩から掛ける工夫をしたり、猫が好きな利用者と一緒に「ねこカフェ」に出かけるなど、利用者一人ひとりの思いや意向に沿った対応について、職員がアイデアを出し合い、実践している。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	<p>入居前のアセスメントをしっかりと把握して対応している。又、入居の際は出来るだけ、馴染みの家具・食器等を身近に置いて用いている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	<p>職員一人一人が日々の変化に気づける様、目配り・気配りし、その都度記録に残す様努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ケアカンファレンスの際は、看護師・職員・ケアマネージャー同席の上で行っている。又、ご家族様ご本人様の意向を聞きながら支援している。</p>	<p>ケアマネージャーの介護計画作成後、現場職員が詳細なモニタリングを記録し、介護計画に反映がなされるなど、本人の状況や職員間の意見をもとに、現状に即した介護計画の作成が行われている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>個別に日々の記録を記入している。記録は職員で共有し、介護計画の見直しに活用している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>ご本人様・ご家族様からの、その時々にも生まれるニーズに対応出来る様に、常に柔軟な支援を心がけている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>近隣の保育園児との交流や、近所へ散歩や買い物をしたり会話を楽しんだりしている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>ご本人様・ご家族様に希望があれば、かかりつけ医の受診は可能である。その際は、ご家族様又は看護師が同行して対応している。</p>	<p>利用時に、本人や家族の希望により、かかりつけ医を選ぶことができる。事業所の協力医を選ばれた場合、二週間に一回の訪問診療により健康管理を行っているほか、紹介状による専門医受診につなげ、状況に応じて職員も同行するなど、利用者が適切な医療を受けられるような支援がなされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>日々の体調の変化や異常時には看護師に報告し、速やかに対応出来る様支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>ご利用者様が入院した場合は、状態の報告を速やかに行い、ご家族様・病院関係者と相談し、今後の方針を決める様にしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>入居契約時には、契約と同時に重度化した場合についても説明後、サインを頂いている。管理者より、ご家族様に事業所として出来る事を十分に説明しながら方針を決めている。主治医にもその旨報告し、指示を仰いでいる。</p>	<p>利用時に、重度化した場合の対応方法について説明し、実際に重度化した場合にも家族に詳細に説明し、協力医や看護師と連携しながら対応している。実際に看取りケースは多く、チームによる看取り体制が築かれている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>職員全員が対応出来る様ミーティング等で話し合い、施設用にマニュアルを作成し、共有するよう心がけている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>年2回の防火訓練を実施している。内1回は職員・防火管理者立会いにて、施設内で消防署より説明・指導を受けている。町内会で、火災時での地域住民への声かけはおこなっている。避難場所は尾長東2丁目片河集会所になっている。</p>	<p>年に2回、防火訓練を行い、うち1回は消防署の指導を受けて訓練を行っている。町内会の協力により、火災時の近隣住民への声かけ等も行っている。また、職員を防災センターに派遣し、そこで訓練を受けた内容を伝達研修するなど、積極的に災害対策がなされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	ご利用者様の自尊心や羞恥心に配慮して、トイレ・入浴・更衣時の際は必ずドアを閉めている。浴室から出る時は、女性・男性問わずバスタオル等で前身を覆う様心がけている。ご利用者様一人一人について、入居される迄の生活環境等の違いを職員間で把握して、共有している。	利用者の状況に応じて、入浴時に同性介助を実施しているほか、夜間のパット交換時においても、同性による介助を希望される利用者には、できる限り意向に沿うように努めている。また、日頃からバスタオル等で肌の露出を避けたり、言葉の拘束にも気を付けるなど、一人ひとりの人格やプライバシーの保護に取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご利用者様の意志を尊重し、無理強いや強制を行わない様心がけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	業務よりご利用者様を優先している。一人ひとりに合ったペースで生活して頂いている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	起床時には、可能な限りご本人様に整容を任せている。又、毎月、地域の美容師による散髪や毛染めが行なわれている。入浴時には、職員と一緒にご本人様の好みの服を選んでもらっている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事の前のテーブル拭きや、食後の下膳・食器洗いを手伝ってもらっている。朝食のみだが、洋食・和食を選んでもらっている。ご利用者様全員ではないが、ご希望によりご家族様と外食に出かけている。	食事時には、準備や片付けなどを手伝ってもらっているほか、行事食の実施や普段と違う食事の提供も行っている。また、朝食は、和食か洋食かを選ぶことができ、スーパーへの外出時にはプリン購入など、利用者が生活の中で食事を楽しんでもらえるような工夫がなされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>ご利用者様一人一人に合った食事形態にて提供している。食事量・水分量は毎食記録している。一度に摂取できない場合は時間をおいて提供している。又、入浴後にご利用者様の好きな飲み物をお出ししている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後に口腔ケアの声かけと，ケアが十分ではないご利用者様には介助を行っている。2週間に一度，歯科往診がある。夕食後，口腔ケア後，義歯のご利用者様の歯はポリドントに浸し，朝装着して頂いている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>毎食事の前後に排泄の声かけ・介助を行っている。それ以外にも，ご利用者様より訴えがある時は排泄誘導を行い，その都度排泄を記録し，長時間排泄が見られない場合，看護師へ報告している。</p>	<p>排泄チェック表を活用し，適切な声かけによるトイレ介助が行われている。その結果，紙パンツではなく布パンツを利用することができている利用者もいる。トイレ誘導時には，その人に応じた見守りや声かけを実施するなど，排泄の自立に向けた支援がなされている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>便秘気味のご利用者様には水分摂取の声かけをしています。便コントロールを看護師の指示にて行っている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めず，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>毎日ではないにしても，入浴剤を入れて気持ち良く入浴してもらっている。週2回の入浴日は一応決まっていますが，その都度ご利用者様の希望に沿うよう努めている。</p>	<p>安心して入浴してもらえるように，声かけの工夫や家族の協力，状況に応じて同性介助を実施するなど，適切な方法を職員会議で検討し，本人が納得した上で，入浴してもらえるような対応がなされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>ご利用者様一人一人の入居前の生活習慣を職員間で共有し、無理強いしない様、入眠の声かけを行っている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>服薬時には、職員とご本人様と一緒に名前・日付を確認している。新たに処方された薬がある場合は服薬ノートに記載し、副作用の有無等の確認をしている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>食器洗いや洗濯物を干す・畳む等をお手伝いをして頂いている。編み物が好きなご利用者様・書く事が好きなご利用者様と、入居前にされていた事を出来るだけして頂いている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>天気の良い日は職員と一緒に散歩に出かけたり、ご利用者様の好きな食品を買いに出かけている。その都度、ご家族様には報告している。</p>	<p>近所に挨拶も兼ねて日常的に散歩に出かけているほか、近隣のスーパーへの買い物、大型ショッピングセンター、花見など、一人ひとりの状況に応じて外出ができるような支援がなされている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>御家族様から預かっているお金で、外出時に食べ物や飲み物などを買っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>ご利用者様に年賀状を書いて頂いて、ご家族様に送っている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>毎日清掃を行っている。室内の照明・室温にも配慮している。1日に1回は居室の窓を開け空気の入替えをおこなっている。又、共有の場所は、四季に応じて展示物・飾り物を変えている。</p>	<p>事業所は回廊式で風通しも良く、管理者が率先して事業所内の清掃を行っているほか、展示や飾り物により四季の移ろいを感じたり、近隣の保育園児が作成した作品を展示するなど、利用者が居心地よく過ごせるように配慮がなされている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>テレビを見る時は椅子に座ったり、新聞を読む時はソファに座ったりして、思い思いの場所で過ごされている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入居前に使用されていた品を出来るだけ持ってきていただき、居心地よく過ごして頂ける様にしている。</p>	<p>洗面台や台所、トイレが設置されている。元々サービス付き高齢者住宅の部屋と、最初からグループホーム仕様の居室として作られた二通りの部屋があり、選ぶことができる。利用者は馴染みの家具を持ち込むことができ、居心地よく過ごせるように配慮がなされている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>自立支援の為、最小限の介護を行うようにしている。事故・ケガ等が起こらない様職員同士声かけしながら安全・安心に過ごされる様支援している。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームかぐや姫

作成日 平成28年7月8日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1		運営推進会議への参加率が悪い。	運営推進会議に民生委員、婦人会長、家族様、地域包括支援センターよりの毎回の参加を目指したい。	日程を早目に決め多方面に出席の声かけをする。	次回の運営推進会議迄。(8/末)
2		身体拘束をしないケアの実施	御家族様同意の上で拘束しているが時間を決めての実施とする。	拘束する場合は、その都度状況を細かく記録していく。	短期目標 (7/1~9/末)
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。